

～～第7728回～～

笠ヶ岳

～H27. 7. 31-8. 2～

(1日目) 快晴 満車状態の新穂高温泉Pに何とか駐車・仮眠し、6:45 登山指導センターで登山情報を確認し、十分な準備体操と絆チェックして出発。7:45 中崎橋(水場)を通過して8:00 笠新道(急峻な登りで有名) 分岐・水場、賑やかなわさび平から8:45 よいよ小池新道登山口から登山開始し樹林帯の中を進む。風が弱く蒸し暑くてベテランでも暑さでバテ気味、10:00 秩父沢から11:55 シシウドガ原。早く稜線に出て冷たい風を浴びたい。13:50 鏡平山荘に到着。ゆっくり登ったので7時間近くかかった。山荘は増築された新しく綺麗な部屋だが、3つのフトンに4人掛けと言われる。結局さほど混まずぐっすり寝ることが出来た。

(2日目) 快晴 3:30 起床。鏡平池から満月に照らされた槍ヶ岳・穂高連峰を望む。5:30 朝食。今日も快晴だが朝からかなり暑く、紫外線も非常に強いので、長袖シャツ・日焼け止めが必須となる。6:30 山荘を出発し、7:38 弓折乗越。やっと稜線から涼しい風が吹きあがってくる。双六岳や黒部五郎岳、三俣蓮華岳、雲の平方面を見ながらゆっくり稜線を歩く(見とれているとペースが下がる) 9:30 大ノマ岳を通り13:30 抜戸岳(山頂往復) 15:30 笠が岳山荘に到着。ザックを置いて見上げる笠が岳山頂へ登る。夕食を済ませ早めに就眠する。前日と同様、4つのフトンに6人掛け。暑くて窓を開けて寝るが、部屋のいびきと外の話声がうるさい(外でも静かにしましょう)

(3日目) 快晴 5:00 起床。再び山頂に行く。小槍あたりから朝日上がり、素晴らしい稜線と雲海が映し出され、富士山が不思議と低く見える。6:28 山荘を出発し、7:45 笠新道を下る。凹凸のある斜め石が多く歩きにくい。杓子平を下って30分経った頃、仲間一人が足を踏み外して左足首をひねる。足首をテーピングし、ザック量を減らし、両ストック、絆で体を結ぶが、まだ3時間近く急な下りが続く為、自力下山を断念。119番し日陰で熱中症を避けて待機、警察のパトロール隊2名が掛け付けてくれ、3時間後に救助ヘリで高山市内の病院へ搬送される。残り3人下山し、病院に寄ってみると容体は骨折。応急処置してもらい、そのまま温泉に寄らずに磐田に帰る。今回は快晴、すばらしい360° 大パノラマ展望でした。でも疲れが溜まった帰路の下山はゆっくり足元のその一步に注意しましょう!

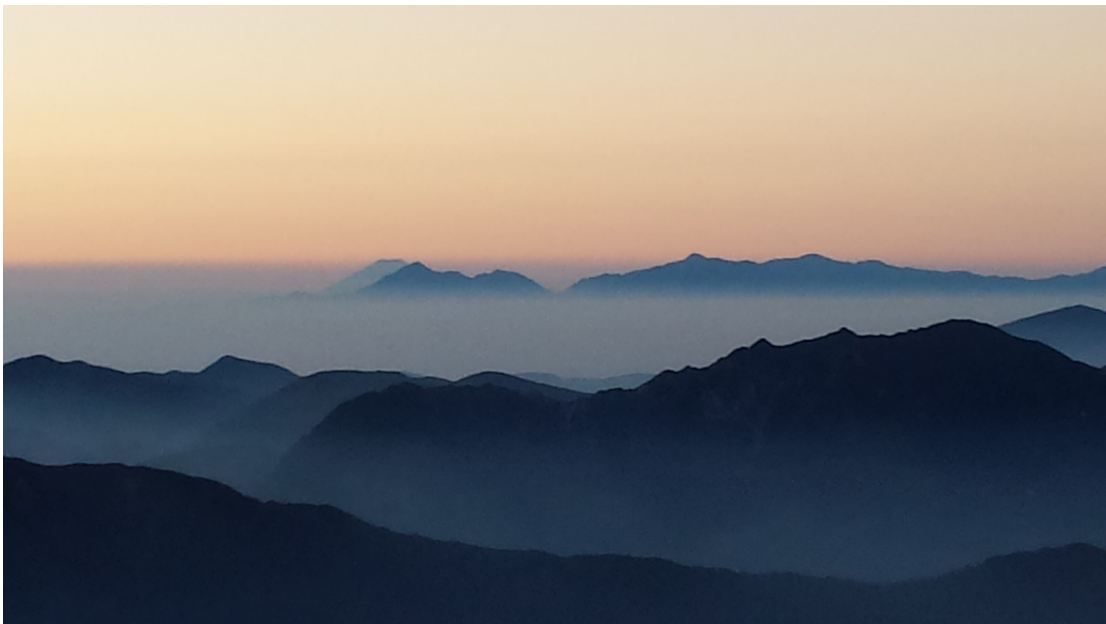
参加者4名(磐田4)

コースタイム:新穂高P 645…中崎橋 745…笠新道分岐 800…わさび平 825…小池新道登山口 845…秩父沢 1000…シシウドケ原 1155…鏡平山荘 1350-630…弓折乗越 738-53…大ノマ岳 930…抜戸岳 1320-35…笠が岳山荘 1530-628…笠新道分岐 745…杓子平 848…(事故待機)…笠新道分岐 1511…新穂高P 1635

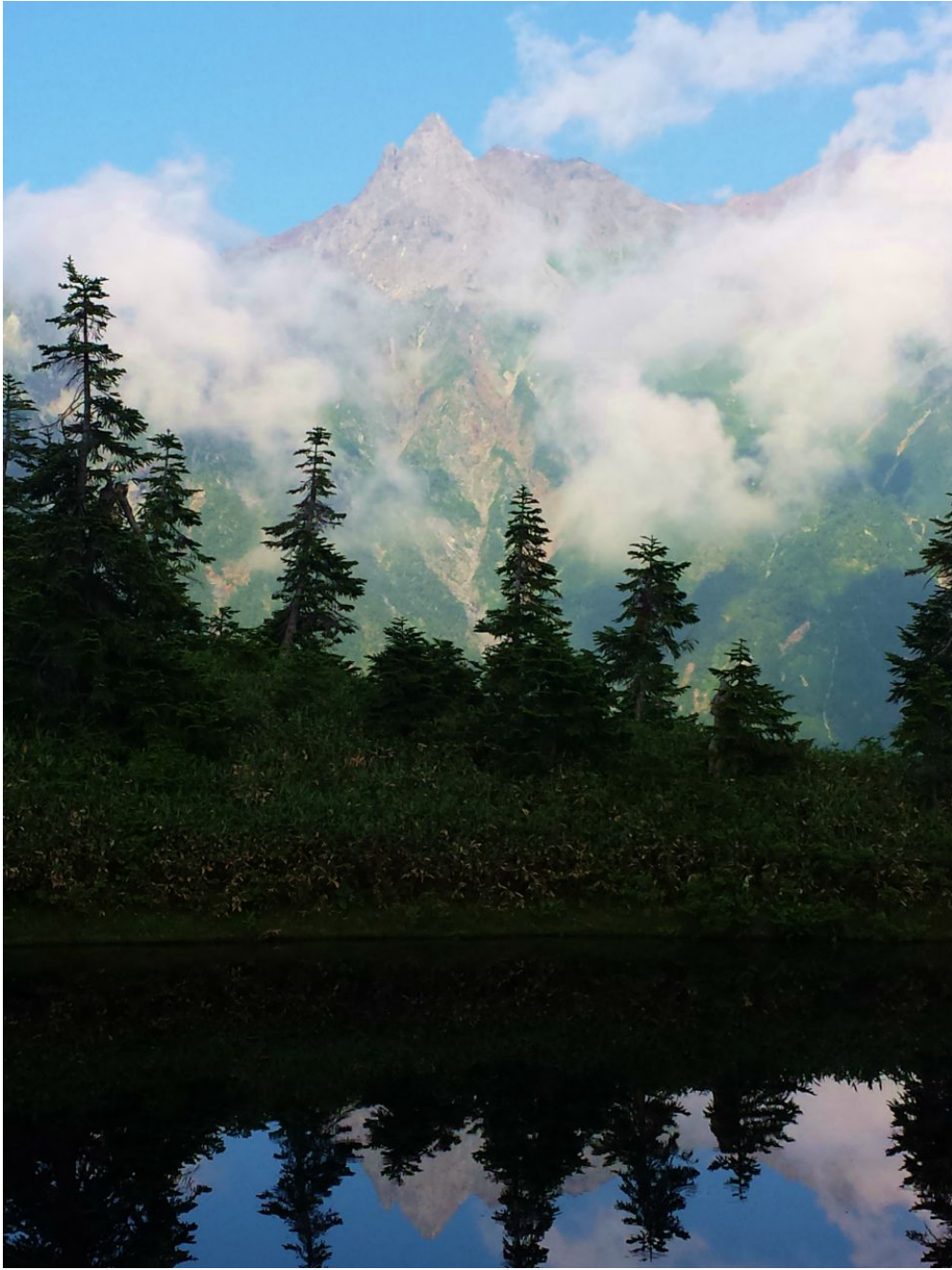
記録:磐田支部 永井



笠が岳山頂から槍ヶ岳と日の出を望む



笠が岳山頂（早朝）から望む富士山です ずいぶん低く見えますね



鏡平池に映る凜とした槍ヶ岳